



古都祝奈良2025-2026 開催報告(続)

KOTO
HOGU
NARA

こ
ほ
な
と
う
ら

古都祝奈良

奈良市アートプロジェクト

令和7年度事業概要

奈良市アートプロジェクト「古都祝奈良(ことほぐなら) 2025-2026」

期間	令和7年10月25日(土)～令和8年3月30日(月)
会場	奈良市ならまちセンター、三条通り内旭水公園、奈良市役所庁舎1階玄関ホール、ならまち各所、奈良市音声館、奈良市立一条高等学校、ならファミリーらくだ広場、BONCHI、
主催	奈良市アートプロジェクト実行委員会、奈良市
協力	各プログラムの協力団体・個人は各プログラム報告において記載

令和7年度事業一覧

参加者数 合計 **1,417人**

美術	・ 古都祝奈良の学校	参加者数:17人
	・ グリーン・マウンテン・カレッジ	参加者数:97人
演劇	・ まちなか舞台	参加者数:27人、観覧者数：1,021人
	・ パフォーミング・アーツ	参加者数:20人
メディアアート	・ ならまちアート・コラボラトリー	参加者数:142人

古都祝奈良トークセッション	・ 時空を巡る旅への入口。 10年目の『古都祝奈良』とその未来へ	参加者数：93人
---------------	-------------------------------------	----------

古都祝奈良トークセッション

「東アジア文化都市2016奈良市」の10周年を記念して、2026年から新たなアートプロジェクトを実施する。その内容について周知を行いつつ、登壇者とともに企画を深掘りするシンポジウムを実施。

実施日 令和8年3月30日（月）

会場 BONCHI 4階 TEN（YouTube Live配信）

登壇者

杉山 拓次（春日山原始林を未来へつなぐ会 代表）
 生駒 あさみ（編集プロダクション合同会社 ココトソコノ制作室 企画編集 ディレクター）
 中島 章（一般社団法人TOMOSU 代表理事）

内容

2016年から10年となるアートプロジェクトや登壇者のこれまでの振り返り、奈良のアートと観光の仕掛けを参加者を交えて考える。

奈良市アートプロジェクト「古都祝奈良2025-2026」

2017年からスタートした奈良市アートプロジェクト「古都祝奈良（ことほぐなら）」は、これまでに美術や音楽、メディアアート等の現代の表現を通じて、人々が思い、体験し、学ぶ場の創出を、ならのまちのあらで試みてきました。
 このプロジェクトの原点となったのは、2016年の「東アジア文化都市」の開催。
 奈良は日本の都・奈良が育んできた豊かな文化芸術の歴史と、開かれた多様性の精神を現代に呼び起こす挑戦から、10年目の節目を迎える年となりました。
 今ふたたび、さまざまな「時空」が同時に存在する奈良のアート旅を、一緒に考えてみませんか。
 【主催：奈良市アートプロジェクト実行委員会・奈良市】

Talk Theme

- 変わった奈良、変わらない奈良 2016>>>2026
- みんなで考える。奈良とアートと旅の仕掛け

<会場限定> フリートーク&自由交流会

会場参加の皆様には
 古都祝奈良の学校
 教科書0号
 プレゼント!

Guest 杉山拓次 春日山原始林を未来へつなぐ会 事務局長
 生駒あさみ 編集プロダクション合同会社ココトソコノ制作室 企画編集/ディレクター
 中島章 一般社団法人TOMOSU 代表理事

会場 BONCHI (4F) TEN (奈良市橋本町3-1)

参加無料・要申込
 お申込み(締切:3/26)
 申込フォームよりお申込みください
 (*YouTubeによるオンライン配信も行います)
 お問合せ
 奈良市アートプロジェクト実行委員会事務局
 (奈良市二条大路南一丁目1-1奈良市役所文化振興課内)
 ☎0742-34-4942 art@city.nara.lg.jp
 https://kotohogunara.jp/

未来 現代 近代 近世 中世 古代

時空を巡る旅への入口。

10年目の『古都祝奈良』とその未来へ

(OPEN 18:00) 18:30-20:00

2026 3.30 MON

奈良市文化振興計画推進事業
 【奈良市に伝わる文化の継承と発展】 【1】地域の文化資源の活用と発展に寄与する文化活動の振興に努めること 【2】文化の振興と観光との連携に努めること

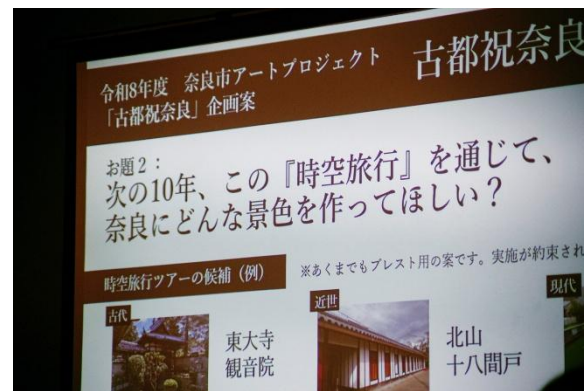
古都祝奈良トークセッション 実施内容

■Talk Theme

- 変わった奈良、変わらない奈良 2016>>>2026
- みんなで考える。奈良とアートと旅の仕掛け

2016年の東アジア文化都市事業を原点とする「古都祝奈良」の紹介から始まり、登壇者3名にそれぞれの活動の立場から、この10年の奈良を振り返っていただいた。次にR8年企画「古都祝奈良の時空旅行」のコンセプトと開催場所案6か所を提示。これを受けて、登壇者と参加者も交えたトークセッションを行った。参加者には配布したカードへの記入による意見集約も行った。

*会場参加者には
「古都祝奈良の学校 教科書0号」を進呈



■トークセッション記入意見（*抜粋）

【お題1】 この6つのスポットに、どんな『仕掛け』をプラスしたら、もっと旅が楽しくなる？

- ・ その場所でその時代の移り変わりと対話できると面白いかも（AIにデータを入れて）
- ・ 古代～近代の姿になって奈良の町を歩く。みんなで時代混在の風景をつくる。

【お題2】 次の10年、この『時空旅行』を通じて、奈良にどんな景色を作ってほしい？

- ・ 旅行者も地元民も観光MAPで大きく取り上げられにくいスポットを、自分の言葉で説明、紹介できるようになる仕組みもいいなと思います。

参加者	人数
会場	25
YouTube 配信	68